

## それぞれの目標に向かって

副校長 藤田 健太郎

夏の終わりを惜しむような9月の例年のない暑さが終わりを告げ、10月の半ば頃から、ようやく秋らしく過ごしやすい季節となりました。

10月14日土曜日、秋晴れの穏やかな天候に恵まれ、数年ぶりに入場制限を行わずに参観いただいた保護者の皆様の声援のもと、「野庭すずかけ運動会 2023」が行われました。多くの保護者の皆様に参観していただきましたこと、感謝申し上げます。



今年度のスローガンは『みんなの力で 完成させよう すずかけまほうじん』です。子どもたちは、夏休み前から計画を立て、夏休み後は、学年での練習や各委員会での活動など、それぞれのめあてに向かって取り組んできました。低中高ブロックの演技では、お互いに助け合いながら、練習

に取り組む姿が見られました。体育の時間だ  
休み時間に教え合う姿が見られたり、「家でも  
いるんだ。だいぶうまくなってきたよ。」と嬉し  
かけてくれたりする児童もいました。



けでなく、  
練習して  
そうに話し

運動会での自分の役割や活動を本当に楽し  
て、一生懸命取り組んでいることが伝わってきました。子どもたちは、「この学年になると、あの演技が

できる。」と楽しみにしていた様子で、とても嬉しそうに演技  
練習に取り組む姿が見られ、本校の伝統として受け継がれ  
ているのだなと感じました。また、各ブロックの上学年の児  
童が、昨年の経験をもとに、下学年の児童に教えている姿

みにしてい



は、上級生としての自信と自分たちが引っ張っていくんだという責任感を感じることができました。2  
学年ブロックで演技や競技を行う良さがこんなところにも表れているのだなと感じました。

さて、結果は大差がついてしまいましたが、子どもたちの運動会の振り返りには、勝敗よりも自分  
が一生懸命取り組んできたこと、仲間と共に戦ったこと、競い合った相手がいたから楽しくできたこと、  
運動会を支えてくれた高学年の児童や教職員、保護者への感謝などが書かれており、心が温かくな  
りました。体育科の目標の一つに、「運動やスポーツに対して『する、見る、支える、知る』といった多様  
な関わりをもち、生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現する」というものがあります。今回の運  
動会は、子どもたちの、お互いに応援し合う姿、競い合った仲間に感謝する姿、各系の活動でみんな  
の頑張りを支える姿などからも、子どもたちが様々な形で運動を楽しみ、親しむ経験になったことが  
感じられました。また、そのような子どもたちの姿を見つけ、温かい言葉をかけて認めていくことで、  
より良い成長につながっていくことが期待できます。これからも、学校と家庭、地域の皆様と協力し合  
って子どもたちのより良い成長を支えていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。